解析事例；幼生、稚魚の浮遊・漂着解析

■概要

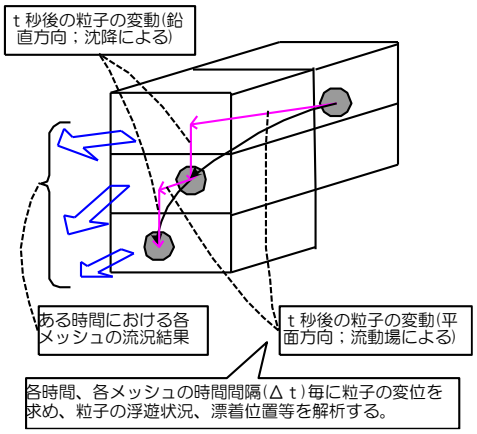
・対象水域の流況解析を行い、流況結果を得る（流動場として利用）
・仮想粒子が時間の経過とともにどう浮遊・漂着するかを解析

■条件

海底地形、海域への陸域流入条件（水量）、潮流観測結果（境界条件、検証比較データ）、
仮想粒子の粒径（あるいは沈降速度）

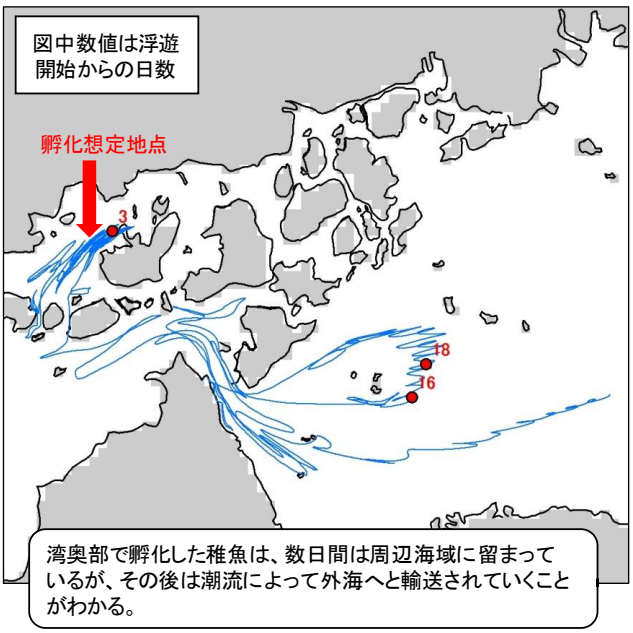
■解析

●浮標追跡のイメージ



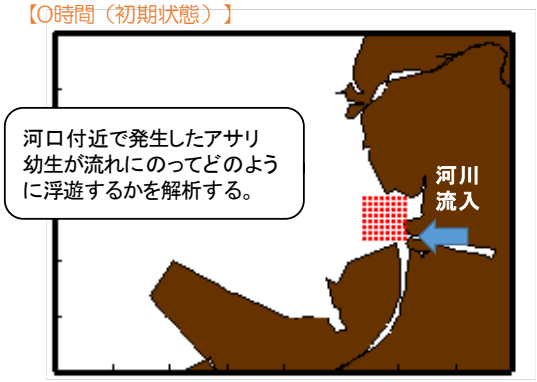
●仮想粒子の挙動解析

・投入された仮想粒子の挙動を追跡する



●幼生の浮遊・漂着解析

【0時間（初期状態）】



【12時間後】

【36時間後】

■事例

〇流入水（水塊）の浮遊範囲や経路の推計・視覚化
（例)下水処理水の近隣養殖場への到達状況を把握
〇浮遊物（プランクトン、ゴミ等）の漂着状況の推計・視覚化

応用技術株式会社
APPLIED TECHNOLOGY CO.,LTD.
お問い合わせ
応用技術株式会社　エンジニアリング本部
メール：kaiseki@apptec.co.jp